

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フットヒルカレッジ
留学期間	2019年9月～2020年3月
留学を開始した時の学年	3年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	71万円
保険料	13万円
宿舍費（1か月あたり）	9万円
食費（1か月あたり）	3万円
渡航旅費	13万円

滞在形態関連

1) 種類
ルームシェア。
2) 部屋の形態
相部屋（4人）。
3) 設備
シャワー、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、Studying Room。
4) 住居を探した方法
個人的に探した。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。三種混合。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人、大学のカウンセラー。
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
非常に良い。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
普通。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
基本的にクレジットカードのみでの支払いだったため、現金は日本から持って行った 300 ドルだけで足りた。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
外食は日本より圧倒的に高いが、スーパーなどの自炊は日本より安い。 しかし、出汁などの日本材は手に入りにくいため、日本から持ってくるとよい。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
空港からは Uber や Lyft を使い初日にウォールマートで自転車を買えば、交通手段には基本的に困ることはない。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
Uber。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。3日間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）**履修した授業科目名**

Python for programmers

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業は試験と課題の成績が100%で、出席は取られない。プログラミングを経験している人にとっては比較的楽である。Pythonの基礎中の基礎を授業内で学ぶことができる。

履修した授業科目名

Argumentation and Persuasion

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業はコミュニケーションクラスの一つでディベートを1学期内で2回行い、その出来によって成績が出される。英語でのディベートになるため、相当な勇気がない限りはとらないことをおすすめする。

履修した授業科目名

Pshychology 1A

授業内容や試験、授業を受けた感想について

心理学の基礎中の基礎を学ぶことができる。いろいろな心理学の範囲の基礎を学んでいくため、基本は心理学の用語を覚えることしかしない。なので世間一般の恋愛などに応用する楽しいタイプの心理学ではないため、履修する際は心理学を本気で専攻して自分の未来のキャリアにつなげていきたい場合でない限りはおすすめしない。

履修した授業科目名
Intro to business information
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ビジネスの中でどのように顧客情報などのいろいろな情報が使われているかを学ぶことができる。同時に会社がどのように機能しているかも学ぶことができる。

履修した授業科目名
Gender Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
LGBTQ などへの理解が圧倒的に広まっているアメリカでのジェンダーの授業は非常に興味深いものがあり、日本の 5, 6 年後のジェンダーに対する考え方を体験することができた。非常に興味深い授業である。内容としては 3 回の個人プレゼンテーションと 1 回のグループプレゼンテーションの計 4 回のプレゼンテーション+課題の提出によって成績が評価される。

履修した授業科目名
Object oriented programming python
授業内容や試験、授業を受けた感想について
こちらは少し発展した Python の知識などを学ぶことができる。この授業は Python の基礎構文を理解していることを前提に進んでいくので履修の際は注意が必要。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学しようと思った理由については、留学前日本にいる際、何もかもが同じ単調な生活を毎日繰り返しているような気がし、一種の虚無感を感じたため、何か新しいことに挑戦し、新しい視点を手に入れることで、良い刺激をもらい、このような状況を打破することができると思ったからです。</p> <p>この留学先を選んだ理由は、もともとダイバーシティやジェンダーなどに興味があり、「人種のるつぼ」と呼ばれる非常に多様性が豊富なカリフォルニアに留学したいと思ったことがきっかけです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の本格的な準備は1か月ほど前から開始しました。その際しておけばよかったことは、特になのですが、しなければよかったことが一つあります。それは、留學生生活を想像することです。自分も理想の留學生生活を自分で思い描き、そしてこんな感じだろうと頭の中で考えていたのですが、その理想の留學生生活と現実の留學生生活はいい意味でも悪い意味でも異なったため最初の一か月で少しばかりのパニックになり、落ち込んだことがありました。そのため、留學生生活への過度な期待はせずに留學中の最終的な目標だけをたてておくのがいいと思います。</p>
<p>留學中に役立つ書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>Uber と Lyft などのカーシェアリングアプリです。</p> <p>その他のアプリ、ウェブサイトの注意としては、アメリカの Amazon では日本の Amazon アカウントが使えないということと、Amazon プライムや netflix などの動画サイトも著作権の影響でアメリカ本土では見れないということがあります。対策としては、VPN といわれるものを利用し、日本の IP アドレスを使うことで解決します。</p> <p>それと、この大学ならではの canvas というサイトがあり、Oh-Meiji! のように大学の情報はもちろん、各授業で出た宿題や現在の成績など、授業で役立つ情報が随時更新され、非常に便利でした。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>皆、非常に勉強熱心で日本の典型的な大学生たちとは違うような感じがしました。大学の雰囲気としては、非常にのどかで静かにただ時間が流れているような雰囲気です。これは実際に通ってみればわかると思います。周りを見渡せば非常に多くの人種の学生を見ることができ、食堂を歩いているといろいろな言語の会話を聞くことができたりと文化の違いや面白さを見ることができます。</p>

	それを表すように、食堂のメニューは非常に豊富で、日本食があるときもあれば、時にはフランス料理やメキシコ料理などいろいろな食文化に触れることもできます
滞在先の雰囲気	滞在先は、非常にのどかで誰一人急いでいる人がおらず、非常にのんびりとした雰囲気です。年間で 300 日以上が晴れの日といわれており、公園ではバーベキューをしていたり、犬の散歩をしてゆっくりと時間を過ごす人を多く見かけました。何よりも驚いたことは非常に犬にフレンドリーな国であるということです。普通にスーパーマーケットの中やカフェ、ジムの中でさえ愛犬を連れて一緒に楽しんでいるのをよく見かけました。カフェでは店員に頼むと犬用のおやつがタダでもらえると友人が言っていたくらいなので、犬が好きな人にはとても嬉しい国なのかもしれません。
留学先における交友関係	交友関係としては、運がいいことに滞在したシェアハウスが、同年代の気が合う人たちだけが集まるようなシェアハウスだったので、そこで友達を作り一緒に住み、時々外出するような感じでした。週末は小さなパーティーを開いたり、祝日を含む三連休などの時はハイキングコースやカジノに行って休暇を楽しみました。よい交友関係を作るコツは、頭を下げず堂々としていることです。アジア人は小柄で、愛想笑いばかりしているイメージが外国人の方々にはあるらしいので、変に謙虚にならずに相手と接するといと思います。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	留学に来た時につらかったのは最初の一か月の孤独感です。現地に到着し、最初の三日間は留学生向けのオリエンテーションがあるのですが、そのオリエンテーションのあと約 20 日間あいたが空きます。その時、友人もだれもいなく、一か月間ほとんど人とも会話することがなく非常に孤独感に悩まされたことを覚えています。なので是非最初のオリエンテーションで友人をつくり、そこでその 20 日間一緒に何をするかを相談してみてもいいかもしれません。
留学先における学習、課題や試験	こっちの大学は非常に多くの課題が出るので、一日 3 時間ほどは課題に費やしていました。しかし、幸い東京のように誘惑が多いわけではないので、1 日平均 10 時間ほどを勉強に費やすことができました。課題や試験は基本的に授業に出ているだけでパスすることができます。たとえば、聞き逃したり授業について誤解していることがあったとしても canvas という Oh-o!Meiji のようなサイ

	<p>トに 1 から 10 まですべて教授が課題などをアップデートしていくのでそのサイトを使っておけば大丈夫です。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>留学先がたまたまシリコンバレーのど真ん中ということもあり、自分の友人含める周りの人たちは 90% が IT 系の専攻の学生課、エンジニアとして実際に働く人達だったため、その人達の影響を受け、プログラミングの勉強を始めました。プログラミングは非常に興味深く、未来のある分野であるということを知ることができたため、自由時間は基本的にプログラミングの学習に時間を費やしていました。また、近くにあるジムで一日二時間ほど、もともとの趣味である筋トレをし、勉強をするという生活をしていました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>常に目標を持ち続けてください。常になぜ自分は留学にきたのか、そして留學生活を通してどのような知識やスキルを日本に持ち帰りたいかを常に考えて行動してください。留學生活は言葉一つ話すことですら最初はチャレンジです。なので何を目標に留學に来たかを忘れてしまうと、いずれチャレンジすることをあきらめ内向的になり、留學にせっかく来たのに自分の部屋にこもってしまうということになりかねません。常に目標を忘れず、そしてチャレンジし続けることであなた自身をあなたの理想に近づけることができるかもしれません。</p>